

取組：「徳島県英語教育推進計画COMPASS」の実践

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

本県中高生の英語力は全国平均を上回っているものの、「発信能力」に課題がある。要因として、中学校では「話すこと」及び技能統合した言語活動を取り入れた指導が不十分であること、高等学校では授業中における教員の英語使用及び生徒の英語による言語活動の割合が伸び悩んでいることが考えられる。また「校種間連携」にも課題があり、県及び市町村教育委員会を中心とした体制作りの強化が必要である。

Plan

■取組計画

5か年計画COMPASSの1年目として、県下の全小中高特の学校への周知を徹底させ、言語活動を通じた指導の充実と校種間連携の促進を図る。

■体制

グローバル・文化教育課と教職員研修課・学校経営支援課が中心となり、市町村教育委員会・大学・各学校と連携を取りながら事業を実施する。

Do

①COMPASSの周知

COMPASSを印刷製本し、地教委・全小中高特の学校及び英語科教員へ配付。学校訪問等を実施し教科会を通して周知徹底。

②高等学校専門学科授業改善事業

講師：大学教授や他県専門高校教員
オンライン活用で参加者の負担を軽減し、年間4回定期的に実施することで、各校の継続的・段階的な授業改善を支援する。

③小中高連携促進動画作成

小英研・中英研等と連携して小中高の授業を撮り、1本の動画にまとめ、他校種の取組を同時に見ることができるようにする。地教委に配付し、研修資料とする。

④G I G Aスクール構想の推進！英語指導力向上事業

小中高英語教育推進リーダー18名が4名の講師（大学教授）から年間5回（小中高合同2回、校種別3回）の指導を受講・実践報告することによりブラッシュアップを図る。その実践報告や講師からの指導助言を動画編集。総合教育センターWebサイトに掲載し、県下全小中高特の学校に普及する。

Check

①COMPASSの周知

教育課程研究集会（小中高）・小中英研・高教研・小学校専科教員連絡会・学校訪問（全高校・36中学校）を通じ全英語教員に周知

②専門・総合学科における英語教育実施状況調査

- 生徒の英語力 41.8%(R1)→47.2%(R3)
- 授業における教師の英語使用 37.3%(R1)→46.5%(R3)

④G I G Aスクール構想の推進！英語指導力向上事業

- 実践報告の検証
- 全5回研修アンケート・動画視聴アンケートの分析

Action

①COMPASSの周知

研修会や学校訪問による継続した周知、高校で英語科主任会開催

②高等学校専門学科授業改善事業

研修内容を踏まえた授業改善実践について、県下全高校に発信

③小中高連携促進動画作成

動画を活用した研修内容を踏まえた授業改善の実践

④G I G Aスクール構想の推進！英語指導力向上事業

I C Tを効果的に活用した言語活動の充実促進と、指導と評価の一体化を具現化する評価の在り方の研究に向けた取組

成果の普及

- 「徳島県英語教育推進計画COMPASS」
- 「G I G Aスクール構想の推進！英語指導力向上事業」について 他

